2025 年 11 月 27 日

**報道参考資料**

この資料は、インスメッド（米国　ニュージャージー州）が 2025 年 10 月 30 日（現地時間）に発表した内容を日本語に翻訳（要約）したもので、参考資料として提供するものです。資料の内容および解釈については、米国における規制等に基づくもの及び英語による記載が優先されます。英語版および関連財務表は、https://insmed.com をご参照下さい。

# インスメッド®、2025 年第 3 四半期業績、ならびにビジネスアップデート発表

- BRINSUPRI™（ブレンソカチブ）、非嚢胞性線維症気管支拡張症に対する初の、かつ唯一の治療薬として米国 FDA が承認。欧州連合の CHMP の肯定的な見解を採用、日本では申請を受理。
- BRINSUPRI の 2025 年第 3 四半期の売上高は 2,810 万ドル。
- アリケイス®（アミカシンリポソーム吸入用懸濁液）*の 2025 年第 3 四半期の売上高は 11,430 万ドルで、2024 年第 3 四半期と比較し 22%の成長を反映。
- 2025 年のグローバルでのアリケイス売上予想レンジを 4 億 2,000 万ドルから 4 億 3,000 万ドルに上げ、2024 年に比べて 2 桁成長を反映。
- 鼻茸を伴わない慢性鼻副鼻腔炎（CRSsNP）患者を対象としたブレンソカチブの第Ⅱb 相試験（BiRCh 試験）のトップラインデータは 2026 年 1 月上旬までに公表する予定。
- 化膿性汗腺炎（HS）患者を対象としたブレンソカチブの第Ⅱb 相試験（CEDAR 試験）は患者登録を完了し、トップラインデータは 2026 年前半に得られる見込み。
- 間質性肺疾患に伴う肺高血圧症（PH-ILD）を対象とした TPIP の第Ⅲ相試験（PALM-ILD 試験）は、2025 年第 4 四半期に開始予定。肺動脈性肺高血圧症（PAH）、進行性肺線維症（PPF）、特発性肺線維症（IPF）を対象とした第Ⅲ相試験についても、2026 年に開始予定。

*日本ではアリケイス吸入液 590 mg（アミカシン硫酸塩　吸入用製剤）として承認されています。

**2025 年 10 月 30 日、米国ニュージャージー州発**　人を第一に考え、深刻な疾患と生きる患者さんの未来を変える、ファースト・イン・クラスおよびベスト・イン・クラスの治療法の実現を目指すグローバルバイオ医薬品企業のインスメッド（Nasdaq: INSM）は、2025 年 9 月 30 日に終了した第 3 四半期の業績、ビジネスアップデートを発表しました。

インスメッド会長兼最高経営責任者（CEO）のウィル・ルイスは、「2025 年第 3 四半期は、BRINSUPRI の米国食品医薬品局（FDA）による承認と当社の 2 つ目の製品発売を達成した記念すべき期となりました。これは、非嚢胞性線維症気管支拡張症の患者さんに初の新薬を届けることに注力した当社のチームの貢献を明確に示すものです。BRINSUPRI は米国で発売されたばかりですが、医師と患者さん両方から寄せられた肯定的な反響に私たちは大変勇気づけられていま

す。」と述べたうえで、「この成果は、当社の後期プログラムであるアリケイス、ブレンソカチブ、および TPIP、ならびにファースト・イン・クラスまたはベスト・イン・クラスの治療法で構成される成長中の臨床パイプラインにおいて、今後 18 カ月間にわたって見込まれる数多くの商業的および臨床的転換点の始まりに過ぎません。こうした機会を前に、当社のチームは、これまで以上に深刻な疾患と生きる患者さんの未来を変えることに尽力していきます。」と述べています。

最近の主なハイライト

アリケイス

- アリケイスの 2025 年第 3 四半期の売上高は、2024 年第 3 四半期に比べて 22%増加し、すべての地域における成長を反映しています。
- 新規に診断された、又は再発したマイコバクテリウム・アビウムコンプレックスによる肺疾患（肺 MAC 症）で抗生物質による治療を受けていない患者を対象とした第Ⅲ相 ENCORE 試験のトップラインデータを 2026 年前半に公表する予定です。
- ENCORE 試験の成功を待って、すべての肺 MAC 症患者を適応とする適応追加申請（sNDA）を 2026 年後半に米国 FDA に行う予定です。

ブレンソカチブ

- 2025 年 8 月、FDA はインスメッドによる非嚢胞性線維症気管支拡張症（NCFB）患者を対象としたブレンソカチブの新薬承認申請（NDA）を承認しました。これにより BRINSUPRI™（ブレンソカチブ 25 mg および 10 mg 錠）は米国において上市されました。
- 2025 年 10 月、欧州医薬品庁（EMA）の欧州医薬品委員会（CHMP）は、欧州連合（EU）における NCFB の治療に BRINSUPRI（ブレンソカチブ 25 mg 錠）の承認を推奨する肯定的な見解を採用しました。
- 気管支拡張症患者を対象としたブレンソカチブの薬事申請は、英国および日本において受理されています。EU、英国、日本での上市は、各地域での承認を待って、2026 年を予定しています。
- 鼻茸を伴わない慢性鼻副鼻腔炎（CRSsNP）患者を対象としたブレンソカチブの第Ⅱb 相試験（BiRCh 試験）のトップラインデータは、2026 年 1 月上旬に報告する見込みです。
- 化膿性汗腺炎（HS）患者を対象としたブレンソカチブの第Ⅱb 相試験（CEDAR 試験）への患者登録は、2025 年 10 月に完了しました。CEDAR 試験のトップラインデータは、2026 年前半に報告する見込みとなっています。

**TPIP**

- 2025 年第 4 四半期に、間質性肺疾患に伴う肺高血圧症（PH-ILD）患者を対象とした Treprostinil Palmitil Inhalation Powder（TPIP）の第Ⅲ相試験（PALM-ILD 試験）を開始する予定です。

- 2026 年前半には、肺動脈性高血圧症（PAH）患者を対象とした TPIP の第Ⅲ相試験を開始する予定です。
- また、2026 年後半には、進行性肺線維症（PPF）と特発性肺線維症（IPF）を対象としたTPIP の第Ⅲ相試験についても開始する見込みです。

遺伝子治療

- 髄腔内投与遺伝子治療薬である INS1201 のデュシェンヌ型筋ジストロフィー（DMD）患者を対象とした第Ⅰ相臨床試験（ASCEND 試験）で、最初の集団（コホート）への投与を完了しました。
- 筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者への髄腔内投与遺伝子治療薬である INS1202 の治験薬（IND）申請について、FDA に認可されました。
- スターガルト病を対象とする 3 つ目の遺伝子治療候補薬は、現在、治験に向けて準備が進められており、2026 年前半に IND 申請を行う見込みです。

前臨床プログラム

- 研究開発では、現在開発中の 30 以上の前臨床プログラムが含まれており、そのすべてが対象としている適応症に対し、ファースト・イン・クラス、あるいはベスト・イン・クラスの治療法になる可能性があります。
- 前臨床研究プログラムから、年間平均 1～2 件の IND 申請を行う予定です。
- 前臨床研究プログラム全体に対する支出は年間支出全体の 20％未満となる事が継続的に見込まれています。

コーポレートアップデート

- 2025 年 9 月に欧州呼吸器学会（ERS）2025 年会議において、インスメッドはポートフォリオに関する 7 件の抄録を発表しました。
- 2025 年 10 月に米国胸部疾患学会(CHEST) 2025 年年次総会において、インスメッドはポートフォリオに関する 6 件の抄録を発表しました。
- 2025 年 10 月、インスメッドは *Science* 誌の 2025 年トップ・エンプロイヤー調査で 1 位となり、5 年連続で首位を獲得したことを発表しました。この年次調査は、バイオテクノロジー、製薬、および関連産業の従業員に対して調査を実施し、20 社の優れた企業とその推進特性を判定しています。

**2025 年第 3 四半期および第 3 四半期累計期間の業績について**

以下の表は、米国、日本、欧州およびその他の地域における 2025 年及び 2024 年の第 3 四半期及び第 3 四半期累計期間の売上高と売上成長率をまとめたものです。

| ［単位：100 万ドル］ | 第3 四半期<br>(9 月30 日までの3 カ月) 2025 | 2024 | 成長率 | 第3 四半期累計期間<br>(9 月30 日までの9 カ月) 2025 | 2024 | 成長率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| アリケイス | | | | | | |
| 米国 | $74.0 | $66.9 | 11% | $206.9 | $187.0 | 11% |
| 米国以外 | 40.3 | 26.6 | 52% | 107.6 | 72.3 | 49% |
| 合計 | $114.3 | $93.4 | 22% | $314.5 | $259.3 | 21% |
| **BRINSUPRI** | | | | | | |
| 米国 | $28.1 | $- | データなし | $28.1 | $- | データなし |
| 米国以外 | - | - | データなし | - | - | データなし |
| 合計 | $28.1 | $- | データなし | $28.1 | $- | データなし |
| 総売上高 | | | | | | |
| 米国 | $102.0 | $66.9 | 53% | $235.0 | $187.0 | 26% |
| 米国以外 | 40.3 | 26.6 | 52% | 107.6 | 72.3 | 49% |
| 合計 | $142.3 | $93.4 | 52% | $342.6 | $259.3 | 32% |

- 売上原価（無形資産償却費を除く）は、2025 年第 3 四半期に 2,940 万ドル、2024 年第 3 四半期は 2,120 万ドルでした。売上原価の増加は、主にアリケイスの売上高と BRINSUPRI の売上高の伸びを反映したものです。
- 研究開発（R&D）費用は、2025 年第 3 四半期が 1 億 8,640 万ドル、2024 年第 3 四半期が 1 億 5,080 万ドルでした。R&D 費用の増加は、主に人員増に伴う報酬および福利厚生関連費用の増加、株式報酬費用の増加、さらには臨床研究開発費用および製造原価の増加によるものです。
- 2025 年第 3 四半期の販売および一般管理費（SG&A）は、2024 年第 3 四半期の 1 億 1,890 万ドルに対し 1 億 8,640 万ドルでした。SG&A 費用の増加は、主に専門家報酬およびその他の外部費用の増加、さらには BRINSUPRI の上市準備および販売活動のための人員増に伴う報酬および福利厚生関連費用の増加、株式報酬費用の増加によるものです。
- 2025 年第 3 四半期の純損失は 3 億 7,000 万ドル（1 株あたり 1.75 ドル）で、2024 年第 3 四半期の純損失は 2 億 2,050 万ドル（1 株あたり 1.27 ドル）でした。

貸借対照表、財政ガイダンス、計画投資について

- 2025 年 9 月 30 日現在、インスメッドは、合計で約 17 億ドルの現金、現金同等物、および市場性のある有価証券を保有しています。
- 2025 年通年のアリケイスの全世界での売上予想は、2024 年と比較して 15～18％の年間成

長を反映し、4 億 500 万～4 億 2,500 万ドルから 4 億 2,000 万～4 億 3,000 万ドルに引き上げています。

- 弊社は 2025 年には以下の主要な活動への投資を計画しています。
  - (i) 「BRINSUPRI」の米国でのさらなる拡大、ブレンソカチブについて欧州、英国及び日本においては薬事申請の準備。
  - (ii) 「アリケイス」のグローバルでのさらなる拡大。
  - (iii) ブレンソカチブの臨床試験の推進。CRSsNP 患者を対象とした第Ⅱb 試験（BiRCh 試験）および HS 患者を対象とした第Ⅱb 相試験（CEDAR 試験）を含みます。
  - (iv) アリケイスの第Ⅲ相臨床試験（ENCORE 試験）の推進。現在の適応症の完全承認のための FDA からの市販後要件を満たすことを目指し、可能性として肺 MAC 症の全患者への適応拡大を含みます。
  - (v) TPIP の臨床開発プログラムの推進。PH-ILD 患者を対象とした第Ⅲ相試験の開始と PAH、PPF、および IPF 患者を対象としたそれぞれの第Ⅲ相試験の準備を含みます。
  - (vi) DMD を対象とした INS1201 の第Ⅰ相臨床試験（ASCEND 試験）の推進。
  - (vii) 前臨床研究プログラムの継続的開発。

## カンファレンスコール

インスメッドは、2025 年 10 月 30 日午前 8 時（米国東部時間）よりカンファレンスコールを実施しました。この会議のウェブキャストは、当社ウェブサイト（www.insmed.com）の投資家情報セクションに 90 日間保存されます。

## アリケイスについて

アリケイスは、米国では ARIKAYCE®（Amikacin Liposomal Inhalation Suspension/ALIS, アミカシンリポソーム吸入用懸濁液）、欧州では ARIKAYCE® Liposomal 590 mg Nebuliser Dispersion、日本ではアリケイス®吸入液 590 mg（アミカシン硫酸塩 吸入用製剤）として承認されています。現在、国際的な治療ガイドラインでは、適切な患者にアリケイスを使用することが推奨されています。アリケイスは、これまで静脈内投与され、聴覚、平衡感覚、および腎機能に対する重度の毒性を示す抗菌薬であるアミカシンを、1 日 1 回、吸入投与する新規製剤です。当社独自の PULMOVANCE®リポソーム技術により、アミカシンを肺に直接到達させることで、全身の曝露を抑えながら、主要な感染細胞である肺マクロファージに取り込まれることを可能としました。アリケイスは、PARI Pharma GmbH（以下、PARI 社）社製のラミラ® ネブライザシステムを使用して 1 日 1 回投与されます。

## PARI 社とラミラ®ネブライザシステムについて

アリケイスは、PARI 社が開発した新しい吸入器であるラミラ®ネブライザシステムによって投与されます。ラミラ®は、振動する多孔質膜を介してアリケイスを効率的に噴霧することができる、静かで持ち運び可能なネブライザです。PARI 社は、エアロゾルに関する 100 年の知見に基づき、患者の治療

を向上させるための革新的な送達プラットフォームの開発を通じて、吸入治療の進歩に貢献しています。

**BRINSUPRI™**（ブレンソカチブ）について

BRINSUPRI™（ブレンソカチブ）は、ジペプチジルペプチダーゼ 1（DPP1）を可逆的に阻害する、1 日 1 回投与の低分子経口阻害剤で、米国においては成人および 12 歳以上の小児の非嚢胞性線維症気管支拡張症（NCFB）の治療薬として適応を取得しています。ブレンソカチブは、NCFB の慢性気道炎症を引き起こす主要因とされる好中球内の酵素（好中球セリンプロテアーゼ）の活性化を阻害するように設計されています。ブレンソカチブは、その他の好中球を介する疾患における有用性についても現在評価が進められています。

**TPIP** について

Treprostinil palmitil inhalation powder（TPIP）は、炭素数 16 の炭素鎖にエステル結合で結合したトレプロスチニルで構成される、トレプロスチニルのプロドラッグであるトレプロスチニルパルミチルの乾燥粉末製剤です。TPIP は、当社の研究所で最初から開発された、PAH、PH-ILD、その他の希少かつ重篤な肺疾患患者の治療薬としての評価が行われている、将来が非常に期待される高度に差別化されたプロスタノイドです。TPIP は、カプセル製剤であり、吸入器を使用して投与されます。現在、TPIP は開発治験段階にあり、世界中のどの国・地域においても、承認されていません。

**INS1201** について

INS1201 は、デュシェンヌ型筋ジストロフィー（DMD）の患者に対する治療法として、当社が開発を進めているマイクロジストロフィンを発現する AAV（アデノ随伴ウイルス）遺伝子補充療法です。本剤は髄腔内投与により投与され、低用量で骨格筋および心筋の両方を標的としています。現在、INS1201 は、世界中のどの国・地域においても、承認されていません。

インスメッドについて

人を第一に考えるグローバルバイオ企業であるインスメッドは、深刻な疾患と生きる患者さんの未来を変える、ファースト・イン・クラスおよびベスト・イン・クラスの治療法の実現を目指しています。当社は既承認薬から、中期から後期開発段階にある治験薬、最もニーズの高い患者コミュニティに提供する先進的な創薬まで、多様なポートフォリオを推進しています。インスメッドの最も進んだ段階にあるプログラムは、米国・日本・欧州で承認された慢性的で衰弱しやすい肺疾患の治療をはじめとする肺疾患と炎症性疾患に関するものです。当社の初期段階の研究プログラムは、遺伝子療法、AI を用いたタンパク質工学、タンパク質製造、RNA 端末結合、合成救済など、幅広い技術とモダリティを網羅しています。インスメッドは、米国ニュージャージー州ブリッジウォーターに本社を置き、欧州や日本において事業を展開しています。インスメッドは Science 誌のトップエンプロイヤーサーベイで 5 年連続 1 位に選ばれ、バイオ医薬品産業で優良企業の 1 つとして認められています。

日本法人概要
会社名：　インスメッド合同会社
設立日：　2017 年 12 月 5 日
住　所：　〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-10-3 東急キャピトルタワー13 階
https://insmed.jp/

Insmed®, Insmed logo, インスメッド®, ARIKAYCE® and アリケイス® are registered trademarks of Insmed Incorporated. PARI® is a registered trademark of PARI GmbH. ラミラ® is a registered trademark of PARI Pharma GmbH. All other trademarks referenced herein are the property of their respective owners.

将来予想に関する記述
本プレスリリースには、重大なリスクおよび不確定要素を伴う将来予想に関する記述が含まれております。1995 年米国民事証券訴訟改革法に定義されているように「将来予想に関する記述」は、歴史的事実ではない記述であり、多くのリスクや不確定要素を伴っています。本プレスリリース記載の「かもしれない」、「予定する」、「はずである」、「可能性がある」、「だろう」、「期待する」、「計画する」、「見込む」、「信じる」、「見積もる」、「想定する」、「予測する」、「予定する」、「可能性がある」、「継続する」およびその他同様の表現（ならびに将来の事象、条件、状況に言及しているその他の言葉や表現）は、将来予想に関する記述であることを示しています。

本プレスリリースに記載されている将来予想に関する記述は、当社の現時点での予測や見解に基づくものであり、既知および未知のリスク、不確定要素およびその他の要因を伴っています。これらの要因により、当社の実際の業績、実績、成果および特定の事象の発生時期が、将来予想に関する記述で検討、予測、予想または提示されているそれらと大きく異なる可能性があることをご留意ください。これらのリスク、不確定要素およびその他要因には、以下のものが含まれます。米国、欧州、もしくは日本で ARIKAYCE の商業化を継続的に成功させられないこと、または BRINSUPRI の米国での商業化に成功しないこと、または ARIKAYCE に対する米国、欧州、もしくは日本の承認を維持できないこと、または BRINSUPRI に対する米国の承認を維持できないこと。FDA から ARIKAYCE の完全な承認を取得できないこと（ARIKAYCE の完全な承認に必要な市販後確認臨床試験を成功裏にまたは適時に完了できないリスクを含む）、または ARIKAYCE の適応症をより広範な患者集団に拡大するための規制当局の承認を取得できないこと。米国、欧州、もしくは日本において、当社製品候補に対する規制当局の承認、米国、欧州、もしくは日本以外において ARIKAYCE に対する規制当局の承認(各市場および各用途での Lamira® の個別の規制当局の承認を含む)、欧州もしくは日本におけるブレンソカチブの個別の規制当局の承認 を取得できないこと、または取得が遅れること。適用される規制当局の承認を得た場合でも、当社製品候補の商業化に成功しないこと、または承認された場合でも、当該製品候補に対して適用される規制当局の承認を維持できないこと。当社販売製品、または承認された場合には当社製品候補に対する、医師、患者、第三者支払者、および医療コミュニティのその他の者による市場受容度の不確実性または

変化。当社販売製品、もしくは承認された場合には当社製品候補について政府または第三者支払者から適切な償還を受けられないこと、または維持できないこと、または当社販売製品、もしくは承認された場合には当社製品候補について当社が許容可能な価格を得られないこと、または維持できないこと。当社販売製品および当社製品候補の潜在的市場規模の当社推定値の不正確性、または、医師、予想される患者導入率、予想される治療期間、または予想される患者の服薬遵守率もしくは中止率を特定するために用いたデータの不正確性。当社が製造を委託している第三者が、商業上または臨床上の必要性に応じて十分な量の当社販売製品および当社製品候補を製造できないこと、当社が臨床試験を実施できないこと、または当社の事業に影響を与える契約または法律および規制を遵守できないこと。 Pharmakon Advisors LP が管理する特定のファンドを通じた当社のシニア担保ローンおよび OrbiMed Royalty & Credit Opportunities IV, LP とのロイヤルティファイナンスに関連するリスクおよび不確実性、ならびに、それらから得られる予定の利益(シニア担保ローンおよびロイヤルティファイナンスに関する契約のコベナンツの遵守を当社が維持すること、および当該契約に基づく当社の事業運営への制約の影響を含む)。効果的な直接販売およびマーケティング基盤を構築もしくは維持できないこと、または当社販売製品もしくは将来承認される当社製品候補のいずれかを流通させるためのかかる基盤を提供する第三者と提携できないこと。当社販売製品または当社製品候補について将来の臨床試験を成功裏に実施できないこと、ならびに、試験を実施および完了し、または当社製品候補の規制承認に必要なデータを生成する、または肺 MAC 症のより広範な患者集団で ARIKAYCE を使用できるようにするために十分な数の患者を登録または維持できない可能性があること。当社販売製品または当社製品候補に関連する安全性または有効性に関する予期しない懸念の発生。臨床試験が遅延するリスク、医薬品開発中に重篤な副作用が発見されるリスク、または提出されたプロトコルの修正が却下されるリスク。新規遺伝子治療製品の開発、規制当局の承認および商品化の期間および費用を正確に予測できないこと。当社が随時発表または公表する臨床試験の中間データ、トップラインデータ、または予備データが、より多くの患者データが利用可能になるに伴って変化するリスク、または追加データが開示された場合に異なって解釈されるリスク、または盲検化されたデータが非盲検化されたデータの予測に役立たないリスク。競合他社が、特定の適応症向けに当社が開発中の製品と本質的に同一の製品について希少疾病用医薬品の独占権(ODE)を取得するリスク。主要な人員を確保および維持できないこと、または効果的に成長を管理できないこと。買収先の経営統合に成功せず、経営統合に費やす経営陣の時間と注意を適切に管理できないこと。取得した技術、製品、および製品候補が商業的に成功しないリスク。競争が激しく変化し続ける環境に適応できないこと。当社の技術システムがアクセス、アップグレード、もしくは拡張できないこと、または既存の技術を更新し、または新しい技術を開発し、もしくは実装する際に困難が生じること。当社の重要な顧客を維持できないリスク。政府の医療制度改革により当社のコストが大幅に増加し、当社の財務状況が悪化するリスク。自然災害もしくは公衆衛生上の危機等の大災害またはその他の事象による事業上または経済上の混乱。現在および将来の AI および機械学習の使用が成功しないリスク。米国、欧州、日本、および世界的な経済状況の悪化(当社、当社のサプライヤー、第三者サービスプロバイダー、潜在的な

パートナーに影響を与える長期のインフレの影響を含む）。高額な費用のかかる知的財産紛争に巻き込まれ、知的財産権を適切に保護できず、または、営業秘密およびその他の専有情報の開示を防ぐことができず、ならびに、かかる問題に関連する訴訟またはその他の手続きに伴う費用が発生するリスク。 PARI および AstraZeneca AB とのライセンス契約を含む、当社販売製品もしくは当社製品候補に関連する契約によって当社に課せられる制限またはその他の義務、およびかかる契約に基づく当社の義務を遵守できないこと。製造物責任請求を含む、当社が当事者であるか、または当事者となる可能性のある訴訟から生じる費用および潜在的評判の悪化。サイバーセキュリティ攻撃または問題が発生した場合に当社の事業が重大な混乱に陥るリスク。国際的な事業運営における当社の限定的な経験。当社の事業に適用される法律および規制の変更（価格改革、および、当社製品候補の研究、開発、製造において特定の第三者を活用する当社の能力に影響を与える法律を含む）、ならびに、かかる法律および規制を遵守できないこと。営業損失の履歴、および当社が収益性を達成または維持できない可能性。当社の業績および財務状況に影響を与えるのれんの減損費用。当社の既存の負債を返済できないこと、および、将来の資本にアクセスする当社の能力に関する不確実性。適切な規制当局によって承認された追加の第三者製造施設を建設する計画の実行の遅延、および、かかる計画に関連する予期しない費用。

将来予想に関する記述は、その性質上将来発生するまたは発生しない可能性のある事象に関連し、かつ将来発生するまたは発生しない可能性のある状況に依存するため、リスクおよび不確定要素を伴うことから、当社が将来予想に関する記述で示した実績、計画、意図、または予測を実際に達成できない場合があります。当社の事業に影響を及ぼすリスクや不確定要素に関する追加情報については、2024 年 12 月 31 日を期末とするインスメッド年次報告書（Form 10-K）およびそれ以降に米国証券取引委員会（SEC）に提出している書類に記載されている Item 1A「リスク要因（Risk Factors）」で説明されている要因をご覧ください。

将来予想に関する記述は、あくまでも本プレスリリースの公表日現在における発表であるため、それらに過度に依拠することのないようご注意ください。当社は、法律および米国証券取引委員会（SEC）の規則で特に定められている場合を除き、予測の変化、かかる記述の根拠となる事象、条件、状況の変化、または実際の結果が将来予想に関する記述に記載されたものと異なる可能性に影響を与えうる変化を反映するために、かかる記述を公に更新または修正する義務を負いません。